

# 東京女子医大

# 「特定機能」取り消しへ

厚労省  
審議会

# 返上は認めず

心臓手術ミス・隠ぺい  
事件で医師2人が逮捕さ  
れた東京女子医大病院に  
ついて、厚生労働省の社  
会保障審議会医療分科会  
は、高度先端医療を担う  
特定機能病院の承認を取  
り消す方針を固めた。大  
学当局は自ら承認返上を

厚労省に申し出ている  
が、組織的に診療記録を  
改ざんするなど事件が悪  
質なうえ、反省の意識も  
乏しいとして、返上を認  
めない厳しい姿勢を示す  
見通し。12日の分科会で  
正式に決めるとみられ  
る。取り消し処分は過去

に例がなく、病院は抜本  
的な改革を迫られる。  
群馬県高崎市の平柳明  
香さん(当時12歳)が入  
工心肺装置の操作ミスで  
死亡した事故が昨年12月  
に発覚し、厚労省は翌1  
月、病院への立ち入り検  
査を行い、2月28日に分

科会へ処分を諮問した。  
大学当局は、担当医の

瀬尾和宏容疑者(46)らが  
警視庁に逮捕された後の

今月5日、特定機能病院  
の承認返上を文書で厚労  
省に申し出た。しかし、  
委員の間では「病院が作  
った事故後の改善策には  
実効性が乏しく、事件の  
反省が感じられない。返  
上を受け入れず、分科会  
として厳しい態度で臨む  
べきだ」という意見が大  
勢を占めている。承認取  
り消しは、特定機能病院  
に対する処分では最も重  
い。【医療問題取材班】

女子医大小児心臓手術事故

特定機能病院取り消しへ

2002年7月12日 毎日新聞1面トップ